

◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」

絵本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごし、心ふれあう時間を持つきっかけとなることを目的とし、子育て・子育て支援事業の一環として4か月児健康診査時に実施している。図書館とおやこ保健課、そして「豊中子ども文庫連絡会」・「おはなしボランティアポケット」をはじめとする市民ボランティアが連携・協働し、絵本を手渡してきた。この事業は、母語が外国語の人や障害のある人を含む、市内のすべての赤ちゃんとその保護者との関わりを持つ貴重な機会である。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、各方面から要望のあった以前のブックスタート事業（絵本の選択、読み聞かせの体験など）に持続可能な形で戻れるよう、関係課やボランティアスタッフと調整しながら取り組んだ1年であった。



ブックスタート「いっしょに絵本」写真展

コロナ禍以降、絵本を選べない状況が続いていたが、7月からは絵本をビニールパッキングして渡すことで、後で希望の絵本と交換することを可能にした。2月には庄内コラボセンター一周年記念事業として、NPOブックスタートの「いっしょに絵本」写真展を庄内図書館と千里図書館で開催し、市民に事業を知ってもらう機会とした。また、令和6年度からボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせを再開できるよう、研修やスタッフミーティングを実施するなど準備を進め、環境を整えた。

◆ 資料の収集と保存

収集に関しては毎週1回、職員で構成する選書委員会で、市内全図書館の資料の選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」（図書館 Web サイトで公開）に基づき、市民の主体的な生涯学習活動を支援していくために市民の要望および社会の動向にも注視しながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常の生活に役立つ資料を幅広く収集している。

また電子書籍については、職員で構成するデジタル図書館運営チームと選書委員会で選書をおこなった。令和5年度は毎月1回程度、新たな電子書籍を収集・所蔵することができた。統計を活用して利用の動向を鑑みながら、文字の拡大や、音声読み上げ機能など電子書籍の特性を考慮して選書をしている。

保存については、野畑図書館書庫を豊中市立図書館全体の書庫としている。それぞれの図書館で個々の資料について職員の合議による検討をおこない、保存している。

◆ 人権・平和に関する取り組み

市民向けの取り組みとして、講演会や各種資料展示・パネル展などを実施し、市民と職員がともに人権・平和について考える機会としている。

また、職員が人権について理解を深め、市民への啓発につなげるため、年3回の研修をおこなっている。

市民向け人権講演会・資料展示・パネル展等

人権講演会「絵本ライブとシンポジウム-絵本と人権/長谷川さんに聞いてみよう-」長谷川義史さん
(会場：ローズ文化ホール 共催：人権平和センター豊中)

野畑地区人権講演会「無意識の差別を考える～社会のあり方と人権～」Facilitator's LABO (えふらぼ) 栗本敦子さん(会場：野畑図書館 主催：野畑公民分館、野畑小学校、野畑図書館)

人権講演会資料展示「長谷川義史さん絵本展示」(会場：岡町、庄内図書館)

講演と作品・資料展示 子ども読書活動連絡会・第1回連絡会：いつでもどこでもだれにでも「りんごの棚」貸出セットについて/第2回連絡会：さわる絵本について(会場：岡町図書館 対象：子ども読書活動連絡会委員)

作品・資料展示「読むことが困難な子どもたちの読書の手段を紹介する『りんごの棚』展」
(会場：庄内、野畑図書館)

資料展示「戦争と平和の本(平和月間)」(会場：各図書館)

資料展示「男女共同参画週間連携展示2023(男女共同参画週間)」(会場：岡町 共催：すてっぷ)

資料展示「人権関連資料(人権月間)」(会場：各図書館 螢池図書館は通年)

参加型展示「平和の木」(会場：東豊中図書館)

作品・資料展示「小曾根小学校6年生平和学習新聞」(会場：高川図書館)

作品・資料展示「第四中学校夜間学級作品展」(会場：岡町、東豊中、服部、高川、螢池図書館)

資料展示「認知症の高齢者の人権に関する本」(会場：高川図書館)

スタンプラリーカードで子ども向け本の紹介と展示「平和に関する本」(会場：高川図書館)

パネル・資料展示「児童養護施設パネル展」(会場：岡町図書館)

作品展示「原田小学校6年生平和学習の作品」(会場：岡町図書館)

職員研修

「図書館資料の取り扱い事例から人権問題を考える」：豊中市立図書館全体の合同研修。豊中市立図書館における人権問題資料と利用制限資料説明、人権問題資料検討委員会の1年間の活動報告、『ちびくろさんぼ』『ピノッキオのぼうけん』『古地図』それぞれについて説明と意見交換。

「障害者への対応、配慮について」(大阪府立図書館出前講座)：動画視聴と職員間でガイドの練習。

「事例から学ぶ同和研修」：動画視聴とグループワーク

「豊中市職員のための部落差別事象発生時の対応マニュアルについて」：マニュアル改訂にともない改定後のマニュアルを読み込み今後の業務に活かせるよう理解を深める。終了後意見交換。

「リスペクトアザース」(法務省監修、人権教育推進センター動画)：視聴、職員間での感想共有。

◆ 研修

会場参加の研修が再開されたが、リモートと選択可能な研修も多数開催され、貴重な研修の機会となった。

月末の館内整理日を利用し、京都橘大学の嶋田学氏を講師に迎え「これからの豊中市立図書館を考える～図書館経営とフォロアーシップという当事者意識～」を全職員で受講した。

専門研修は、障害者サービスについて著作権・接遇などをより専門的に学ぶことにつとめた。児童サービス・参考業務・学校図書館などのテーマについては継続して取り組んでいる。図書館司書専門講座にも職員を派遣し、リモートも含め「図書館行政の動向」・「図書館とともに創る地域の未来」など19講座を受講した。

令和4年度に引き続き、教育委員会事務局各課の紹介動画を視聴し、各職場の業務内容を共有した。また、行政職員として「接遇研修」・「電話対応研修」・「クレーム対応研修」や、契約事務などの知識や技術習得のため庁内研修を受講した。

職員が受講した主な研修（職場研修、個人研修含む）

専門研修	一般研修
公共図書館と学校との合同研修	人権研修
令和5年度大阪府図書館司書セミナー	情報セキュリティ研修
図書館司書専門講座	電話対応研修
令和5年度大阪公共図書館協会 児童サービス基本研修・実務研修	障害者当事者から学ぶ人権と接遇
図書館員・音訳者のための著作権セミナー	接遇研修
大阪公共図書館協会 障がい者サービス基本研修	クレーム対応研修
大子連児童文化講座	契約事務研修(制度編)(実務編)
講演と新刊紹介 2022年に出版された子どもの本	教育委員会事務局業務内容紹介研修
令和5年度 新任図書館長研修	計 30 講座 1118 人参加
大阪公共図書館協会 参考業務実務研修	
ICT 機器と学び支援	
おはなしボランティアフォローアップ研修講座	
アジア資料書誌作成セミナー	
サピエ研修会	
障害者サービス担当職員向け講座	
地域福祉ネットワーク会議こども部会研修会	
障害者接遇研修	
奈良県図書館研究大会	
豊中市立図書館職員研修会	
計 48 講座 141 人参加	